

「聖火ロード5min.」

2020 聖火リレーが訪ねる地域の魅力を都道府県ごとに紹介

11月5日（火）よりスタート BS1 5分



第1回・福島 立石諒さん

第2回・栃木 平野早矢香さん

第3回・群馬 松本隆太郎さん

来年3月26日、福島県をスタートする“東京2020オリンピック聖火リレー”。121日間をかけて全国857市区町村を巡る。聖火が駆け抜ける地域は、各地を代表する魅力あふれる場所。歴史あふれる街道や、地域の営みを感じる街並み…。そんな地域色豊かな“聖火ロード”を、聖火を迎える各地の動きとともに、47都道府県ごとに5分間で紹介。

【第1回】11月5日（火）午前0：00～（※月曜深夜）

「福島 円谷幸吉を励ました炎の赤い花、ふたたび」

福島県須賀川市は64年東京五輪メダリスト・^{つぶらやこうきち}円谷幸吉の故郷。前回、円谷への応援と聖火歓迎の思いで「サルビアの赤い花」植えた当時の高校生たちは、今回再びサルビアで町を飾り聖火を迎える。

《ナビゲーター》：^{たていしりょう}立石諒（福島県郡山市育ち ロンドン五輪 競泳 男子200m 平泳ぎ 銅メダル）

【第2回】11月6日（水）午前0：00～（※火曜深夜）

「栃木 450年の伝統祭で聖火を歓迎」

栃木県の1日目の終着地・那須烏山市では、450年以上の伝統を誇る行事「山あげ祭り」で聖火を歓迎し、祭りを世界に発信しようと意気込む。

《ナビゲーター》：^{ひらのさやか}平野早矢香（栃木県鹿沼市出身 ロンドン五輪 卓球 女子団体 銀メダル）

【第3回】11月7日（木）午前0：00～（※水曜深夜）

「群馬 温泉地の“湯もみ唄”でリレーを盛り上げる」

群馬県の草津町。草津温泉の女性有志たちは、江戸時代から続く伝統技法である「湯もみ」の際に歌い継がれてきた「草津節」で、聖火を盛大に迎えたいと考えている。

《ナビゲーター》：^{まつもとりゅうたろう}松本隆太郎（群馬県邑楽郡出身 ロンドン五輪 スリッパ 男子グレイブ・マスタイル 60キログラム級 銅メダル）

※毎回「聖火ロード5min.」に続いて、1964年東京オリンピックの聖火ランナーの“奇跡の物語”を描いた「聖火のキセキ」（2018年4月～2019年9月に放送・25分番組）の再放送を編成予定。オリンピック本番への機運を高める一大イベントである聖火リレーを盛り上げていく。